

パブリックコメントの実施結果

① 実施概要

パブリックコメント案の名称	上野地区まちづくりビジョン
意見受付期間	令和元年12月17日(火)から 令和2年1月9日(木)まで
意見受付件数	6人 19件
提出方法の内訳	ホームページ 2人 3件、郵送 2人 14件、 FAX 2人 2件

② 提出された意見と区の考え方(案)

(意見欄はご意見の主旨を損なわないため、原則として原文のまま記載しております。ただし誤字等については修正をしました。)

番号	意見	区の考え方(案)
1	「4- (2) まちの取り組み」として、①外部の人々との交流の場・施設の整備(まち1)、②来訪者への配慮(まち2)は、大切ですが、それ以上に大切なのは、③上野で住む人々への配慮です(まち3)。そのための取り組みとして、商業・業務・宿泊と並んで、住宅を通じた高質都市機能の導入は肝要です。そして、職住近接の都市・上野での居住の促進と地域コミュニティの強化は意義あるものと考えます。	「住宅等の多様で質の高い都市機能の導入」(P15)や「職住近接の都心居住の促進とまちへの愛着を継承する地域コミュニティの強化」(P15)など、上野で住む方々に配慮したまちづくりを推進してまいります。
2	上記を実現するための推進体制として「多様な主体によるまちづくりの推進」は不可欠ですが、推進主体を町会連合会に限定している(24頁)のは問題(時代認識不足)です。下町住人の構造変化を見通し、都心居住の促進を図る観点からはマンション住人(勤め人)の増大(流入)は避けられない趨勢です。従来からの町会構成員は商人・自営業者中心でしたが、勤め人が多いマンション住人の地域への愛着心は多様であり、住人のコミュニティ形成には町会とは別の対策が求められます。マンション住人一括での町会加入を強制することは住人意識の面からもマンション管理組合を巡る法的側面からも無理があるからです。	「多様な主体の協働によるまちづくりの推進」(P24)に掲げたまちづくりの多様な主体のイメージにおいて、「町会連合会」は居住者全体の代表例として示したもので、限定したものではありませんが、よりわかりやすい表現とするため、以下のとおり記載を変更いたします。 「住民 町会連合会」 「商業者 商店街連合会」
3	私は地元の小・中・高校および大学に徒歩通学し、上野の杜と下町情緒への愛着は人一倍のものがあ、会社定年	「まちへの愛着を継承する地域コミュニティの強化」に向けた取

	後に戻り住み、地元町会とも関わりながら、地域コミュニティの強化に取り組みたいと考えてはいるものの、従来のような町会活動は変容を免れないものと考えます。	組みを、住民の皆様との協働により進めてまいります。
4	時間の認識が全くない。今 10 年間で社会がどう変化するか。20 年後のことを誰が想像できるか。夢のみでは人は動かない。真剣に早くこの計画を策定する人達が自身のこととして携わって欲しい。上野は日本中誰でも知っている。上野の発展は地元台東区だけではない。東北の人達、皆の思いである。台東区の価値を再考して欲しい。	短期・中期・長期の目標スケジュールを念頭に、「上野らしさの価値をあげる」(P15) まちづくりを着実に推進してまいります。
5	「杜」は日本の歴史伝統に育まれた「風格」と第一級の文化芸術施設が集積する場所であると共に、諸外国に比べ緑地率が極めて低い都心において「みどりと水」が残されたかけがえのない場所です。「杜とまちを重ね・つなげる」に当たっては、それらを永続的に維持できるような取り組みをお願いします。商業主義に過度に侵食されないような取り組みを期待。	「杜まちの取組み」においては、杜の「みどりのひろがり」(P19) を念頭におくとともに、杜の取組みである「文化の杜に相応しい賑わいや公園機能の維持・向上」(P13) の実現に向けて、「貴重なみどりと水辺の空間を活かした滞在場所の整備」(P13) などに取り組んでまいります。
6	「杜」の「歴史」について、服部区政の「台東江戸ルネッサンス」の取組みを更に更新し、それによって「杜」とそれに連なる「まち」が「格式と伝統ある文化芸術の地」であることを国内外に更に発信し、上野地区と台東区全体のイメージアップにつなげていただきたい。	「国際競争力を強化する文化・芸術の創造発信拠点の形成」(P21) の実現に向けて、「杜」と「まち」を含む上野地区全体で取り組んでまいります。
7	「まち」の収益性向上、活性化にプラスになる、高級感のある賑わいが必要ではないか。今現在、高級品を求める消費者や観光客は日本橋などに流れてしまっているように感じる。日本橋、東京駅エリアにはマンダリンオリエンタル、フォーシーズンズ、アマン、シャングリラなど高級ホテルも多く、成田空港等からのアクセスも上野より上がっているため、危機感がある。	国際都市に相応しい「商業・業務・宿泊・住宅等の多様で質の高い持続可能な都市機能の導入」(P18) を図るよう、まちづくりを進めてまいります。
8	「杜」の「賑わい向上」に当たっては、「騒音」「光害」「池の水質汚濁」など、自然や周辺の住環境を損なうような賑わいではなく、一等地である杜の風格を活かした賑わい創出をお願いします。	「杜の賑わい向上に向けた環境づくり」(P13) にあたっては、文化の杜に相応しい賑わい創出を図るよう、関係機関と連携し、まちづくりを進めてまいります。
9	現況の上野公園内野外ステージは老朽化して雨風が吹き込む構造なので、集客も見込めないように感じる。外部への騒音の問題も発生している。場所としては国内外からのアクセスがよいので、建替えリニューアルにより「杜」	いただいたご意見も参考に、「杜」における「文化・芸術の創造・表現、交流の場づくり」(P13) による「杜の資源の価値・魅力を高める

	の賑わい創出に役立ててはどうか。	都市機能の強化」(P13)の実現に向けて、まちづくりを進めてまいります。
10	自然災害時、観光客や住民、帰宅難民に「安全で快適な」一時避難場所として、現在の「野外ステージ」なども考えられると思うが、現在は雨風に吹きさらし構造となっており、災害時に避難民を収容する建物としては不安がある。上野公園一帯には多くの避難民が集まると想定されるので、観光客なども安全に収容できる建物への改造が必要ではないか。現「下町風俗資料館」についても同様。	いただいたご意見も参考に、「地域防災力の向上に資する災害時の活動拠点機能の充実」(P13)を図るよう、まちづくりの多様な主体の皆様と連携して、エリア防災力の向上に資するまちづくりを進めてまいります。
11	「住民ニーズに応じた買い物環境」について、現在、区人口の約45%を占める新住民(転入から10年以内)の価値観にもマッチした、ハイクオリティで、トレンドな買い物環境を「まち」に創っていただきたく存じます。	「上野で住み、働くための都市機能の強化」(P15)に向けて、商業等の多様で質の高い都市機能の導入や、職住近接の促進を図るよう、まちづくりを進めてまいります。
12	「住民や来訪者との交流」について、区内には伝統ある工房が数多く存じますが、住民であっても「ホンモノ」の技をなかなか目にすることができません。現在の「下町風俗資料館」や現在の「野外ステージ」などを整備し、常設で区民や観光客などが伝統工芸などの技を体験でき、交流できるような場としていただければありがたいです。	いただいたご意見も参考に、「杜とまちの相乗効果を生み出す都市機能の導入」(P18)に向けて、上野の資源を活かした、文化・芸術の創造・表現・交流の場を創出するよう、まちづくりを進めてまいります。
13	エリアマネジメント組織には、自営商業者中心の既存組織だけではなく、まちづくりに関わるNPOや区民の約8割が住んでいる集合住宅民の組織など、新しい組織・団体も参画させ、様々な属性・階層の人々の声(多様な主体の提案)を汲み取れる体制を創っていただきたい。「多様な主体との連携」は服部区政の方針でもあり、国も現在、省庁を跨いで「新たなコミュニティの創造を通じた新しい内発的発展が支える地域づくり」という施策を進めている。	新たなエリアマネジメント組織・体制づくりの中で、様々な属性・階層の方々にもご参画いただけるよう、働きかけてまいります。
14	エリアマネジメント組織の構成員を既存組織に限定し、「まち全体としての利害調整と戦略提案」を行わせることを想定しているのであれば、既存組織への負担が重すぎないか。エリアマネジメントには既存組織以外に、NPO等や新しいコミュニティに加わってもらい、既存任意団体だけに負担がかからないような体制にしてはどうか。	新たなエリアマネジメント組織・体制づくりの中で、様々な属性・階層の方々にもご参画いただけるよう、働きかけてまいります。
15	台風や集中豪雨が激甚化・頻発化する近年、上野公園だけではなく、「杜」の草地面積を増やし、舗装せざるを得ない箇所は浸透性舗装に替えるなど、「杜」や「まち」の	「平時の営みの中で実現するエリア防災力の向上」(P15)を目指し、まちづくりの多様な主体と協

	<p>治水機能（雨水の地下浸透）を守っていただきたく願います。都などのご努力で上野公園内の建蔽率が低減され、公園内の舗装は大部分が透水性となっていますが、昨年の大型台風襲来時に川崎市において発生した内水氾濫が周辺地域で発生しては大変です。タワーマンションのみならず、地下に受変電施設や揚水ポンプを持つビルや集合住宅は無数にあるので、下水の負荷軽減をお願いいたします。ヒートアイランド対策にも有効と考えます。</p>	<p>働で、まちづくりを進めてまいります。</p>
16	<p>山手線の主要駅の1つ、上野駅は他の駅と異なり回りには古くからの街並を有した住勤一体の街並が広がっています。古くからの文化の継承と共に新しいものの受け入れも行なって来ました。しかし、現在の上野は、特に駅周辺はつぎはぎだらけの歩道やその場限りに作ったと思われる構造物により、人の流れを全くと言っていいほど無視をした景観になってしまっています。ここであらためて駅、公園、街を一体にとらえ、10年20年の展望をとらえたまちづくりを構築する必要があると思います。今を整理し、こののち子孫に胸をはって残せることが出来る計画を作成して頂きたい。またその一部にも案としても加わることが出来るよう10年後からと言わず、今から我々の上野に対する思いをもちこんでほしい。10年後からでは遅いと思います。</p>	<p>「杜とまちをわかりやすくつなぐ都市空間の創出」(P17)や「杜とまちの相乗効果を生み出す都市機能の導入」(P18)により、杜とまちを重ね、つなげる「みんなの広小路」(P20)を創出し、駅と公園とまちが一体となったまちづくりの早期実現を目指し、着実に進めてまいります。</p>
17	<p>ビジョン中間のまとめに記載されている将来像と取り組みの方向性に賛同します。少子高齢化、観光客の増加に対応した安全安心な町を目指すことは勿論のこと、商業面の活性化だけでなくバリアフリー指向の歩道整備と美化、町（建物群）の景観改善を意識して頂きたい。例えば袖看板や道に置かれた看板等は災害時のリスクにもなり得るため、具体化のためには建築関係の条例整備、税制面の支援、規制の強化等にも期待します。</p>	<p>「将来の変化に対応した、しなやかな都市空間の形成」(P15)を図るため、「積み重ねた歴史が息づくまちの景観形成と賑わいのルールづくり」(P15)やそのための誘導方策などの検討も進めてまいります。</p>
18	<p>秋葉原から御徒町へ向かう人の流れが増えており（特にJR高架沿いが顕著）、歩道整備（特に5丁目側）を検討しては如何でしょうか。また、JRと連携し高架下の美化整備に取り組んで頂きたい。中央通りについても同様で、都と千代田区との連携を期待します。目につく課題は、放置ごみの清掃、樹木や植栽、タバコ吸い殻のポイ捨てです。</p> <p>個別の地域特性に応じて風俗業は勿論のこと、その類似業種（不健全なマッサージ等）の出店規制も必要と感じます。</p>	<p>いただいたご意見も参考に、「ひと中心の空間活用と歩行者ネットワーク強化による回遊性向上」(P17)、「国際都市の顔に相応しいおもてなし空間の創出」(P17)などの実現に向けて、まちづくりを進めてまいります。</p>

<p>19</p>	<p>上野地区は、山手線の他のターミナル駅（池袋、新宿、渋谷、品川等）に比して駅周辺エリアの基盤整備や高度利用が進んでおらず、その推進が望まれます。上野駅周辺では、JR 敷地・周辺街区を含めた一体的な基盤整備や都市機能の導入を図ることで、地域課題の解決（駅東西のアクセス改善、賑わい創出等）に資するまちづくりが促進され、周辺エリアのバリューアップも期待できます。従いまして、今回の「上野地区まちづくりビジョン」で示されている「将来像」や「取組みの方向性」の内容につきましては、概ね共感・賛同致しております。</p> <p>一方で、将来像の実現に向けた「目標スケジュール」や「推進体制」につきましては、より前倒しで具体的なプロジェクトに着手していく旨の内容に見直して頂きますよう、ご検討をお願いいたく存じます。上記の他のターミナル駅周辺エリアではいずれも、長期的な将来像の実現に向けた再開発事業等が段階的に進められており、既に完成に至った案件も複数ございます。2030 年代を待たずに複数のプロジェクトの事業化を推進頂かなければ、上野地区が今後も競争力を維持していくことが可能か懸念されます。どうぞよろしくお願い致します。</p>	<p>「杜とまちをわかりやすくつなぐ都市空間の創出」(P17) や「杜とまちの相乗効果を生み出す都市機能の導入」(P18) により、杜とまちを重ね、つなげる「みんなの広小路」(P20) を創出することで、駅と公園とまちが一体となったまちづくりの早期実現を目指し、まちの価値をあげる取組みを進めてまいります。</p> <p>目標スケジュールについてはあくまで目安ですが、「主な節目」(P23) なども目標としつつ、将来像の実現に向けた段階的な事業実施が図られるよう、まちづくりの早期実現を目指し、着実に進めてまいります。</p>
-----------	--	---